

鵜川河口干潟の自然再生に関する出前講座を行いました

治水課、苫小牧河川事務所

6月28日(火)、鵜川中央小学校4年生の総合的な学習の時間「むかわの川 大発見！」において、鵜川河口干潟の自然再生に関する出前講座を開催しました。

児童らは、立体地図で鵜川の位置や特徴を調べたり、名前の由来、洪水になったらどうなるのか、どんな生き物がいるのか、川を守るために何をしたら良いのか、くらしとの関係などを学びました。

また、地域で活動している河川協力団体「ネイチャー研究会inむかわ」にも協力していただき、干潟やタンチョウを守る活動などについて説明がされ、児童らは地域で取り組むことについても関心を深めました。

この後、児童らは「鵜川のこと」「鵜川の生き物」「鵜川を守る活動」「鵜川とわたしたちの生活」について取りまとめるとのことです。

室蘭開発建設部は、地域を支える子供たちに向けて、地域の財産である自然豊かな鵜川を理解し大切にすることや川を守る活動の大切さなどを伝え、理解を深めてもらうことで、地域づくりの人材育成につながるよう取り組んでいます。



熱心に説明を聞く児童たち



学習素材(立体地図や説明資料など)